

# 2024 年度教文活動のてびき

各校教文委員のみなさまへ

- ◆この「てびき」の各用紙（①～⑤）は「長野県教文会議」ホームページからダウンロード出来ます。「会員専用」ページの「申請用紙」から必要な書類をダウンロードしてご利用下さい。  
→会員専用ページへは

ID : kyobun  
Password : educas2219

その他ご不明の点は下記、県事務局または支部事務局までお問い合わせください。

## 【支部事務局】

支 部	所属校 & 議長・事務局長 (敬称略)	
高水・須坂	久保田 学／中野西高校	綿貫 京子／中野立志館高校
長水	／長野工業高校	高野健太郎／長野東高校
更埴	坂本 成久／松代高校	伊藤 直弓／篠ノ井高校
上小	金井 文明／上田東高校	宮本由美子／上田東高校
佐久	小森江利子／佐久平総合技術 (浅間 C)	諸橋 知子／佐久平総合技術 (浅間 C)
諏訪	／	藤澤 秋津／岡谷工業高校
上伊那	中村富貴子／箕輪進修高校	平松 未来／箕輪進修高校
下伊那	／飯田高校	岡崎 和弘／飯田 OIDE 長姫高校
木曾		仁科 恭子／木曾青峰高校
松筑	西牧 岳哉／松本県ヶ丘高校	藤岡 善弘／松本県ヶ丘高校
安曇	／豊科高校	浮須みさ子／豊科高校

## 【県事務局】

「長野県教育文化会議」

〒380-0838 長野市県町 593

電話 026-234-2216

FAX 026-234-2219

Email: [kyobun.nagano-h@educas.jp](mailto:kyobun.nagano-h@educas.jp)

Website: <https://kyobun-kaigi.org>

### 教文 LINE 公式アカウント『登録手順』

- ①LINE 起動
- ②右上人型マーク + タップ
- ③QR コード選択・読み込み



教文会議から研究会のお知らせをお送りします。ぜひご登録下さい。

(※グループ LINE ではありません  
教文のお知らせのみが届きます)

# 長野県教育文化会議 2024 年度日程(案)

## 2024年度

- 4月13日(土) 教文委員総会(オンライン)
- 4月20日(土) 第1回総合研究会(オンライン・児美川孝一郎さん講演)
- 4月27日(土) 第1回運営委員会
- 5月25日(土) 高教組定期大会(岡谷市)
- 6月 8日(土) 教文定期代議員会(オンライン)
- 6月22日(土) 第2回総合研究会(特別支援教育・松本市・岡耕平さん講演)
- 7月20日(土) 総研第3回(夏季合宿研)
- 7月20日(土) 第2回運営委員会(教育課程研究協議会について)
- 8月下旬の金・土・日 教育のつどい 会場未定
- 9月前半 県下4地区で教育課程研究協議会
- 11月 2日(土)・3日(日) 県教研  
(伊那中学・上伊那農業高校とオンライン併用)
- 11月23日(土) 第3回運営委員会(仮:今年度同様の日程とすれば)
- 12月 7日(土) 第4回総合研究会(仮:今年度同様の日程とすれば)  
(2023年12月9日第4回総研、2024年1月21日第5回総研)

## 2025年

- 1月11日(土) 第5回総合研究会
- 2月15日(土) 第4回運営委員会(仮:今年度同様の日程とすれば)
- 3月22日(土) 態勢確立学習交流集会

# 長野県教育文化会議

We will learn and glow together!

私たちの学びは学校の生徒から始まります。時には学校を超えて広く大きな視点で、時には生徒との一対一の中からは、私たちの学びを深め教育実践を繰り広げるために教文会議は学びの場を提供します。自らの思いを大切に教職員との交流を通して教育を考えませんか！ 教文会議ではさまざまな分野の専門家を招いて交流しています。日々、困っていること、ささやかな疑問から、授業の妙技、最新の教育論、教育哲学まで、理論と実践から私たちの学びを深めます。ぜひ教文会議にご加入下さい！お待ちしております。



教文ホームページ

教文  
会議

## 教文会費(県の会費)

月額 500 円

月額 200 円

(常勤講師・非常勤講師・再任用職員)

\*組合加入の方は、確定申告で教文会費と組合費の年額の一部が還付されます！

教文主催の総合研究会、支部・県教研への参加費は無料。

旅費・宿泊費を支給します。

その他の研究会・学習会の旅費・宿泊費も補助します。

(詳しくは下記までお尋ねください。)

◆「教文会議 HP」に加入届があります。

Email : kyobun.nagano-h@educas.jp



LINE 公式アカウント

## LINE 公式アカウント 『登録手順』

- ①LINE 起動
- ②右上人型マーク + タップ
- ③QR コード選択・読み込み

登録後、教文会議の情報や研究会のお知らせをお送りします。

# 教文会議加入申込

長野県教育文化会議に加入します

氏名 (フリガナ)

職員番号

生年月日 (西暦で)

年 月 日

学校名

職名・教科名

メールアドレス

ご記入の上、学校の教文委員会から長へお渡しください。ここに記載された個人情報<sup>は</sup>教文会議において使用し、他の用途での使用は致しません。



長野県教育文化会議

長野市県町593

<http://kyobun-kaigi.sakura.ne.jp/>

TEL 026-234-2216 FAX026-234-2219

E-mail kyobun.nagano-h@educas.jp

教文  
会議

# メッセージ

知は力なり。わかっているけれど忙しい。そんな時、まずは教文の過去データを検索。分掌や教科指導についての悩みや疑問に答える蓄積と機会があります。研究会はzoomでも聴ける、まずは一歩踏み出して参加を！

小林純子 (須坂創成高等学校)

## 私に合った教文会議

歴史の事実を語り、正しい知識を学ぶことを考えたとき社会科教師として切実な思いに駆られる。研究会では、最新の教育学研究や幅広い分野からの講演によって、教育問題や教科に関連する内容について見識を深められるとともに、新たな気づきや発見によって授業や生徒対応の参考となるものを得ることができ、教育政策に従い受け入れていくだけでは、本質的な問題は見えない。何を教えるべきか、どのようにして教えるのか、教育とは何か、こうした軸を持って教育活動を考えていくことが大事だと思う。

田澤秀子

(上伊那農業高校)

多様性が重視される中、迷ったり、悩んだりすることが、多くなりました。そんなことを一緒に考え、言語化していくことの可能性が、教文会議にあると思います。(松蔭支部)

自分たちが学びあうことができず、貴重な場だと思ってしまう。現在文科省から下りてくる通知類はそのまま下りてきた、現場で判断して動かしが言っていないように感じています。生徒たちにとっても、ネカリやすく、生き生きとした力をつけてほしい。研究合にも教文の研究会という場は大事な場所です。(上小支部)

# We will learn and glow together!

紙に書かされた思想は  
一般に、  
砂に残った歩行者の  
足跡以上のものを残さな  
いである。  
歩行者のたどった道は  
見え。  
だが、  
歩行者がその途上で  
何を見たり知ったりは、  
自分の目を  
用いなければならぬ。  
.....

アルトゥール・ジョウペンハウエル

教文  
会議

長野県教育文化会議

長野市県町593

<http://kyobun-kaigi.sakura.ne.jp/>

TEL 026-234-2216 FAX026-234-2219

E-mail kyobun.nagano-h@educas.jp

## 研修で一緒に語り合い

### 教文会議のご案内

■教文会議とは  
県内の公立、私立の高校と大学の教職員などが会員です。学校・支部・県の研究会や学習会を開き生徒の成長を目指しています。毎月発行の教文通信やHP「長野県教文会議」(QRコード)をご覧ください。



■教文会議はどんな活動をしているの  
県下各支部の教科・教育課題別の研究会があり研究会を開催しています。

研究会は、【教科別】国語・社会・数学・理科・外国語・芸術・家庭科・情報・商業・工業・農業・福祉・学校保健・図書館

【課題別】参加と共同の学校づくり、子どもと地域、多様な学び、生徒理解と発達、青少年文化k、人権平和・国際・環境教育、教育格差と貧困問題・教育条件整備、キャリア教育・評価・進路指導教育、シエンダー平等の教育があります。

## 教育の専門家としての力をつけましょう

### 会費について

月額500円(県の会費です)  
月額2000円(常勤・非常勤講師、再任用職員)です。  
※支部の会費は支部毎に違いますので教文委員にお尋ねください。

2023年支部毎に魅力的な講師がありました！

支部名	会場	講演・講師
高水須坂	飯山高校	神戸和佳子さん(長野県立大学)「問い、問い、問い、考える。哲学対話のたのしみ?」
長水	長野県教育会館3F	映画上映「チコレートな人々」
	支部教研はZOOM	高橋哲さん(大阪大学・教育法学者)「働き方改革のいま〜経営法の解剖〜」
更埴	長野南高校	寺町聖祐さん(富嶺公立大学准教授)「生徒も教職員もジェンダーに悩まれないために〜エンターと教育入門編〜」
上小	上田東高校	赤塚正一さん(小諸市教育委員会教育支援センター相談員・指導主事)「発達障がいのある児童生徒のウェルビーイングの実現〜本人の将来を見据えた切れ目のない支援について考える〜」
佐久	野沢中学校	岡野八代(同志社大学)「ケアをめぐる視点」(仮)
諏訪	岡谷東高校	馬場智一さん(長野県立大学)「誰でもできる哲学対話」
上伊那	上伊那農業高校	宮下与兵衛さん(東京都立大学客員教授)「なぜ日本の大学生は発奮しない、討論できないのか?」
下伊那	飯田高校	岡本尚也さん(一般社団法人Glocal Academy)「代表理事」 「効果的な探究活動のためのポイントとカリキュラムマネジメント」
木曾	木曾青峰高校・木曾福島宿	「地域巡検」案内人と歩く福島宿史跡めぐり、文化体験
松筑	松本工業高校	西野書博さん(株式会社松本山積)「現代のアカデミー選手育成」
安曇	大町岳陽高校	5研究会を開催

## 一緒に仲間の輪を広げませんか

### 教文会員になると

研究会参加費は無料。  
研修会への旅費をお出しします。  
宿泊の研究会は宿泊費補助があります。  
(民間の研究団体はもちろん手弁当ですが!!)  
教育に関する情報提供、教育関連資料・DVDなど無料貸出、研究会等で書籍割引があります  
そして教科・分掌・生徒にかかわる教育力をアップ  
教育実践のヒントを見つけることができます!!!

### 2024年豪華な講師が来ます！

- 児美川孝一郎さん**(法政大学教授) 4月  
「今日の教育改革は、高校教育をどこに導くのか?」  
——教育DX、制度再編、公教育の溶解——
- 岡 耕平さん**(滋慶医療科学大学院医療管理学研究科准教授) 6月  
「特別支援教育と生徒支援」
- 伊藤亜紗さん**(東京工業大学准教授)  
2024年度県教研記念講演

(詳細は長野県教文HPをご覧ください)



# 長野県教文会議加入届

年 月 日

\*必要事項を記入して、メールで返信、または職場の教文委員または組合代表の方へお渡しください。

職場名		職員番号	
フリガナ			
名前			
職名		教科	
メールアドレス	@		

## 教文会議加入について

### 【教文県研究会登録】

この加入用紙をご提出後に  
各校で回覧する研究会登録をして下さい。教科別研究会と課題別研究会の  
2つに登録をお願いします。

【会費】 月額 500 円  
月額 200 円（常勤講師・非常勤講師・再任用職員）  
\*組合加入の方は、確定申告で教文会費と組合費年額の一部が還付されます！

### 【会員になると】

- \*教文主催の総合研究会(総研)、支部・県教研への参加費は無料。
- \*年5回実施する「総研」(特別支援教育、ジェンダー平等の教育、授業実践など)参加が無料、旅費等補助があります。
- \*支部や県の「教科別研究会」や「課題別研究会」で研修ができます。
- \*教文、民間研究団体の研究会・学習会のご案内を差し上げます。
- \*教文通信フルバージョン閲覧できます。
- \*仲間の支え合いで教育力をアップ、教育の悩み解消に向けて自主研修を深めます。

詳しくは「教文会議HP」をご覧ください。  
教文公式LINEアカウントにも登録してください。

長野県教文会議  
〒380-8790 長野市県町593 Rinks593  
電話：026-234-2216  
FAX：026-234-2219  
Email：kyobun.nagano-h@educas.jp

### 教文 LINE 公式アカウント「登録手順」

- ①LINE 起動
- ②右上人型マーク  + タップ
- ③QR コード選択・読み込み



教文会議から研究会のお知らせをお送りします。ぜひご登録下さい。

(※グループ LINE ではありません  
教文のお知らせのみが届きます)

# 教文会議の研究会組織について

県の研究会では、教科と教育課題について研究会を開催して実践交流や講演を通して教職員の専門性を深めています。

会員の方は「教科別」と「課題別」2か所にご登録下さい。

《県》 教科別研究会と課題別研究会の27の研究会からなっています。教科別研究会では全県研究会を開催しています。

## 【教科別研究会】

1 国語

2 社会科

3 外国語

4 数学

5 物理・化学

6 生物

7 地学

8 保健体育

9 音楽

10 美術

11 書道

12 家庭科

13 情報

14 農業

15 工業

16 商業

17 福祉教育

18 学校保健

19 図書館

20 事務

# 【課題別研究会】

教育課題について実践交流と研究を深めています。

(現)研究会名称	(旧)研究会名称	研究会内容
参加と共同の学校づくり、子どもと地域研究会	学校づくり、教育課程 高校改革・入試制度 教育史・教育法研究会	学校教育の多様性を保障し、子ども・青年の抱える多くの課題や苦悩に寄り添う取り組みや、子どもの現実と向き合い子どもを主体とした保護者、地域、教職員共同の学校づくり、教育課程づくりをすすめることを研究テーマとする。
多様な学び、生徒理解と発達研究会	生活指導研究会 特別支援研究会 定通教育研究会	特別支援教育、定通教育、生活指導 生徒の実態に則した教育課題の研究。生徒理解、発達課題、特別支援教育などを学び考えあうことで多様性を受け止める高校における自立的活動、進路選択を研究テーマとする。
青少年文化研究会	青少年文化研究会	様々な課題を解決できる子どもたちをどう育てるか、また、自治的活動を通じどのような力を育むのか。
人権平和・国際・環境教育研究会	人権平和国際教育研究会 地域と環境教育研究会	子どもの人権を尊重し、平和と個人の尊厳を守り、活かす教育をどのように構築するか、また人権、平和、環境にかかわる国際的課題や現代の社会的課題への対応や解決の方策を研究テーマとする。
教育格差と貧困問題・教育条件整備研究会	教育条件整備研究会 定通教育研究会	社会経済格差による貧困問題等が、学校や生徒、家庭に引き起こす教育格差や生活に及ぼす影響について分析する。また ICT を含む学校の教育環境などにおいて公教育の果たす役割はどうあるべきかを研究テーマとする。
キャリア教育・評価・進路指導教育研究会	進路指導研究会 学校づくりと教育課程研究会	キャリア教育のあり方と新たな枠組みの職業教育、高大接続に関する内容を研究テーマとする。評価（中高、高大接続）に関する研究を行う。高校生就職実態調査を実施、分析し進路指導の在り方を研究テーマとする。
ジェンダー平等の教育研究会	ジェンダー平等の教育研究会	日本社会や学校現場におけるジェンダーバイアス（性差による偏見）・ジェンダーギャップ（性差による格差）を明らかにし、ジェンダー平等の視点からあらゆる社会的、教育的課題等を研究テーマとする。

2024年4月1日

学 校 長 様

長野県教育文化会議  
議 長 寺尾 真純

## 教文会議主催研究会への職員の参加について(依頼)

陽春の候 新年度を迎えられ貴職におかれましては益々ご清祥のことと拝察いたしますとともに、常日頃私ども教育文化会議の諸活動についてご理解ご協力いただいておりますことに、心より感謝と御礼を申し上げます。また、様々な教育課題が山積する中、学校運営にご尽力されていることに対して敬意を表するものです。

教文会議は、ご承知の通り県下公立高等学校の教職員が所属しています。教科別・課題別・特設の計27の研究会で研究実践をすすめ、これらの研究活動の成果や課題は、「紀要」「研究集録」等にまとめられ、現場の教育実践の支えとして活用されています。また、「参加と共同の学校づくり」「ICT 教育」「特別支援教育」「学力・授業づくり・評価」「ジェンダー平等の教育」「教育格差」など教育全般のテーマについて研究会を開催し、研究を深め中等教育に関する様々な提言を行ってまいりました。

本年度も引き続き、重要課題である主権者市民教育、特別支援教育、学力問題や教育課程づくり、ジェンダー平等教育、参加と共同の開かれた学校づくりなどについて積極的に研究を続けていきたいと考えています。

今後とも保護者、県民のみなさんの信託に応えるべく、専門的力量を高め高校生の豊かな成長・発展のため一層努力を傾注していく所存です。

さて、教文会議の研究会への参加の様態は、教育公務員特例法に定められた研修に関する規定およびこれまでの経緯を尊重し、他の一般研修と同様の措置をするものとされています。つきましては、本年度も教文会議の各研究会・諸会議への参加・派遣方について、これまでと同様ご理解とご協力を賜りたく重ねてお願い申し上げます。

尚、参考として2010年度に高校教育課と交わされた確認メモを同封いたしますので、ご一読いただき、ご配慮くださいますようお願いいたします。

追記 教頭、事務長並びに事務室の皆様にもご理解いただきますようお願いいたします。

校長会連絡事項

服務上の取扱いについて、下記のとおりといたしますのでよろしくお願いいたします。

## 教研集会と教文会議の取り扱いについて

高校教育課

平成23年（2011年）4月1日

教育公務員特例法に基づく研修については、校長の裁量で認めることができることとなっているが、

- 1 全ての教研集会（支部教研・県教研・全国教研）は、研修と組合活動の二面性があるため、現時点では教育公務員特例法に基づく研修として認めることはできない。
- 2 各研究会、総合研究会については、開催通知等で「教文会議」という名称を用いていなければ、教育公務員特例法に基づく研修として認めることができる。

以上のことに関し、必要が生じた場合は引き続き協議する。

教文委員のみなさまへ

## 教文会議の各研究会と総合研究会について

2011年度、高校教育課と下記の確認メモを取り交わしました。

### 教研集会と教文会議の取り扱いについて

高校教育課

平成23年（2011年）4月1日

教育公務員特例法に基づく研修については、校長の裁量で認めることができることとなっているが、

- 1 全ての教研集会（支部教研・県教研・全国教研）は、研修と組合活動の二面性があるため、現時点では教育公務員特例法に基づく研修として認めることはできない。
  - 2 各研究会、総合研究会については、開催通知等で「教文会議」という名称を用いていなければ、教育公務員特例法に基づく研修として認めることができる。
- 以上のことに関し、必要が生じた場合は引き続き協議する。

教文会議の研修は確認メモのとおり、学校長の裁量で研修と認めることができる。出張として扱うかどうかは学校長が判断する。ただし、出張で研修することの厳密な法的根拠の問い合わせがある場合には教特法 22 条 2 項に基づく研修は校長の承認を受けて職務専念義務免除により行う研修を規定したものであり、職務命令による研修を規定したものではないと答えざるを得ない。しかし、これまで校長の裁量で出張と認めてきた経緯もあり、そのことは尊重する。

※下線は国語国文学会、県数学会、理化学会、信濃生物会、教文会議の研究会などの研修

■現場の先生方には職場交渉において学校長と次の確認をお願いします。

- ・教職員の資質や学校の教育力の向上にとって教職員が研修することは重要であること。
- ・教職員の研修権をしっかりと保障すること。
- ・教文会議の研究会の意義や価値を理解し、他の研修同様の扱いをすること。

2024年4月1日

教文委員 様  
支部教文議長 様  
支部事務局長 様

長野県教育文化会議  
議長 寺尾 真純

## 教文会議研究会登録と 各種書類の提出について（お願い）

本年度1年間よろしくお願いいたします。教文委員総会前の取り組みで大変恐縮ですが、研究会登録や代表者の決定、研究活動計画は年度当初の最も大切な取り組みです。お忙しい中お手数をおかけしますが、下記の通りよろしくお願いいたします。

「長野県教文会議」ホームページ「会員専用」

ID:kyobun、 パスワード:educas2219 をご使用下さい。

# 1. 各校教文委員さんへ

## （1） 学校長へ依頼状をお渡しく下さい。

- ①「教文会議主催研究会への職員の参加について（依頼）」
- ②「教研集会と教文会議の取り扱いについて（高校教育課）」

平成23年（2011年）4月1日」を学校長へお渡しく下さい。

教文会議の研究会は教育公務員特例法22条の「研修として認める」と高校教育課と確認しているのご理解いただきたいことをお伝えください。

## （2） 教文への加入をすすめて下さい。

1. 4月に分会長あてに届く「分会別加入者一覧2024」「転入予定者加入状況」で加入・未加入が確認できます。
2. 4月中に送付する教文通信「えでゆきゆる」、「教文勧誘チラシ」、「長野県教文ホームページのお申込み・申請用紙」いずれかの「加入届」を活用し、教文会議の研究会加入をすすめてください。

## （3） 会員の支部研究会登録を進めてください。

2024年度の希望研究会を、教文会議 HP➡「会員専用」➡「申請用紙」➡

1. ①「職場回覧用『研究会登録用紙』」を使用して進めてください。

2. 研究会ごと学校代表者を決定して、◎印をつけてください。

**4月末日までに支部と県事務局、2か所へご提出**ください。

**県事務局メール: [kyobun.nagano-h@educas.jp](mailto:kyobun.nagano-h@educas.jp)**

## (4) 職場教文活動計画を送信して下さい。

職場の教文活動について検討し、

教文会議 HP⇒「会員専用」ページにある、(お願い)【教文委員・支部事務局のみなさま】「職場・支部教文活動計画」で②「**職場教文活動計画**」を開きご回答ください。職場会等でご検討いただき **4月末日**までに送信してください。

## (5) LINE 公式アカウントに登録を！

会員専用です。教文からのお得な情報をお届けします。ぜひご利用ください。

■教文会員には、教文通信「えでゆきゆる」の

**LINE 公式アカウント QR**で「友達登録」を勧めて下さい。

(登録方法) ⇒LINE 起動 ⇒右上人型マーク+ ⇒QRコード読み込み



書類の提出やご連絡は下記まで

Email : [kyobun.nagano-h@educas.jp](mailto:kyobun.nagano-h@educas.jp)

## 2. 支部事務局長さんへ

### (1) 教文委員名簿

⑤「**教文委員名簿**」のご提出をお願いします。11支部の各校教文委員にメールで連絡をしますので、**4月のできるだけ早い時期に県事務局**ご提出ください。

### (2) 支部研究会長の決定

教文会議 HP➡「会員専用」➡「申請用紙」ボックス

➡④「**支部研究会長名簿**」を**5月末日**までに**県事務局**にご提出ください。

各校教文委員から①「**職場回覧用『研究会登録用紙』**」が4月末日までに提出されますので、支部で学校代表者会を開催して、研究会代表者を決定して下さい。支部内に該当研究会がない場合は、柔軟に対応してください。お手数をおかけしますが、教文会議活動の鍵になります。ご協力をお願いいたします。

### (3) 支部教文活動計画

教文会議 HP➡「会員専用」ページの「お願い【教文委員・支部事務局長のみなさま】「職場・支部教文活動計画」に③「**支部教文活動計画**」を掲載します。学校代表者会でご検討いただき**5月末日**までに送信してください。

書類の提出やご連絡は下記まで

Email : kyobun.nagano-h@educas.jp

# ①職場回覧用

# 教文会議「研究会登録用紙」

## (1)教科別研究会

※(1)教科別、(2)課題別、基本2つに登録します。なお本用紙は教文への入退会用ではありません。

研究会名称	会員名前 (研究会学校代表者に◎をつけてください) 1マスに1人分氏名をお書き下さい。										学校名 教文委員名	会員数	
国語教育													
社会科教育													
外国語教育													
数学教育													
物理・化学教育													
生物教育													
地学教育													
保健体育教育													
音楽教育													
美術教育													
書道教育													
家庭科教育													
情報教育													
農業教育													
工業教育													
商業教育													
福祉教育													
学校保健													
図書館教育													
事務													

※記入完了後、教文会議「研究会登録用紙」は、支部と県事務局が所提出してください。支部事務局、県事務局で集約しますので

校内回覧で書きされたデータは、氏名をExcelシートに入力してください。お手数がかかりますがよろしくお願ひします。

※県事務局メールアドレス kyobun.nagano-h@educas.jp 支部事務局メールはご確認ください。よろしくお願ひします。

# ①職場回覧用

# 教文会議「研究会登録用紙」

## (2) 課題別研究会 教科別・課題別の2か所にご登録ください。

(頭)研究会名称	(旧)研究会名称	研究会内容	会員名前 (研究会学校代表者に◎をつけてください) Tマスに1人分の氏名をご記入ください。			学校名	教文委員名	会員数
参加と共同の学校づくり、子どもと地域研究会	学校づくり、教育課程 高校改革・入試制度 教育史・教育法研究会	学校教育の多様性を保障し、子ども・青年の抱える多くの課題や苦悩に寄り添う取り組みや、子どもの現実と向き合い子どもを主体とした保護者、地域、教職員共同の学校づくり、教育課程づくりをすすめることを研究テーマとする。						
多様な学び、生徒理解と発達研究会	生活指導研究会 特別支援研究会 定通教育研究会	特別支援教育、定通教育、生活指導 生徒の実態に則した教育課題の研究。生徒理解、発達課題、特別支援教育などを学び考えあうことで多様性を受け止める高校における自立的活動、進路選択を研究テーマとする。						
青少年文化研究会	青少年文化研究会	様々な課題を解決できる子どもたちをどう育てるか、また、自治的活動を通じどのような力を育むのか。						
人権平和・国際・環境教育研究会	人権平和国際教育研究会 地域と環境教育研究会	子どもの人権を尊重し、平和と個人の尊厳を守り、活かす教育をどのように構築するか、また人権、平和、環境にかかわる国際的課題や現代の社会的課題への対応や解決の方策を研究テーマとする。						
教育格差と貧困問題・教育条件整備研究会	教育条件整備研究会 定通教育研究会	社会経済格差による貧困問題等が、学校や生徒、家庭に引き起こす教育格差や生活に及ぼす影響について分析する。またICTを含む学校の教育環境などにおいて公教育の果たす役割はどうかあるべきかを研究テーマとする。						
キャリア教育・評価・進路指導教育研究会	進路指導研究会 学校づくりと教育課程研究会	キャリア教育のあり方と新たな枠組みの職業教育、高大接続に関する内容を研究テーマとする。評価(中高、高大接続)に関する研究を行う。高校生就職実態調査を実施、分析し進路指導の在り方を研究テーマとする。						
ジェンダー平等の教育研究会	ジェンダー平等の教育	日本社会や学校現場におけるジェンダーバイアス(性差による偏見)・ジェンダーギャップ(性差による格差)を明らかにし、ジェンダー平等の観点からあらゆる社会的、教育的課題等を研究テーマとする。						

※記入完了後、教文会議「研究会登録用紙」は、支部と県事務局2か所へ提出してください。支部事務局、県事務局で集約しますので  
 枝内回覧で手書きされたデータは、氏名をExcelシートに入力してください。お手数をおかけしますがよろしく願います。  
 ※県事務局メールアドレス kyobun.nagano-h@educas.jp 支部事務局メールはご確認ください。よろしく願います。

②

## 職場教文活動計画

教文会議 HP➡「会員専用」トップページ➡  
➡②「職場教文活動計画」(Google Form)で  
作成し4月末日までに送信してください。

◆ご回答していただく項目は以下です。

分会名 分会代表者名

I 職場教文活動のテーマ・目標

II 職場の教育実践5項目の推進計画

1 職場(校内)教研の開催 ~開催の時期、テーマ、内容など~

2 公開・研究授業の推進 ~開催の時期など~

3 通信の発行と交流 ~教文通信の発行計画など~

4 生徒の自主活動の援助と共同

5 生徒・保護者・地域と教職員による共同の研修会などの開催(懇談会、  
交流会、三者協議会、フォーラム等)

III その他の計画

③

## 支部➡県事務局

# 支部教文活動計画 (議案書掲載用)

教文会議 HP➡「会員専用」トップページ➡  
➡③「支部教文活動計画」(Google Form)で  
作成し4月末日までに送信してください。

◆ご回答していただく項目は以下です。

- 支部名 事務局長名
- I 本年度の支部教文活動のテーマや活動の重点
  - II 具体的な計画
    - 1. 支部教研
      - ①期日      ②会場      ③テーマ、その他特徴的なこと
    - 2. 支部教文会議総会
      - ①期日      ② 会場
    - 3. 各研究会代表者会議の計画(期日)
      - 第1回          第2回
    - 4. 支部教文会議主催の公開授業の計画
  - III 支部教文会議費
    - 月額      円
  - IV その他、支部独自の活動計画など

# ④

## 教文会議支部研究会長名簿

教文会議 HP → 「会員専用」 → 「申請用紙」 ボックス → ④「支部研究会長名簿」

※5月末日までに県本部事務局まで送信してください。

Email : kyobun.nagano-h@educas.jp

支部名

支部事務局長名

	研究会名	代表者名	学校名
1	国語		
2	社会科		
3	外国語		
4	数学		
5	物理・化学		
6	生物		
7	地学		
8	保健体育		
9	音楽		
10	美術		
11	書道		
12	家庭科		
13	情報		
14	農業		
15	工業		
16	商業		
17	福祉		
18	学校保健		
19	事務		
20	教育課程・学校づくり		
21	定通		
22	図書館		
23	青少年文化		
24	生活指導・自治的活動		
25	進路指導		
26	人権・平和・国際教育		
27	教育条件整備		
28	地域と環境教育		
29	ジェンダー平等の教育		

5

2024/3/1

教文委員名簿

支部名	#	教文委員名	所属校名	メールアドレス	電話番号	備考
	1					教文事務局長
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					

学校代表者名簿を県事務局へご提出ください。

県事務局メール：kyobun.nagano-h@educas.jp

電話026-234-2216

《支部教研資料》

2023 年度

支 部	講 師	演 題 (OL : オンライン)
高水須坂	神戸和佳子さん (長野県立大学)	「問い、聴き合い、考える ～哲学対話のたのしみ～」
長水	高橋哲さん (大阪大学・教育法学者)	「働き方改革のいま～給特法の解剖～」
更埴	寺町晋哉さん (宮崎公立大学准教授)	「生徒も教職員もジェンダーに縛られないために～ジェンダーと教育入門編～」
上小	赤塚正一さん (小諸市教育委員会教育支援センター相談員・指導主事)	「発達障がいのある児童生徒のウェルビーイングの実現～本人の将来を見据えた切れ目のない支援について考える～」
佐久	岡野八代 (同志社大学)	「ケアをめぐる視点」
諏訪	馬場智一さん (長野県立大学)	「誰でもできる哲学対話」
上伊那	宮下与兵衛さん (東京都立大学客員教授)	「なぜ日本の大学生は発言しない、討論できないのか」
下伊那	岡本尚也さん (一般社団法人 Glocal Academy 代表理事)	「効果的な探究活動のためのポイントとカリキュラムマネジメント」
木曾	「地域巡検」案内人と歩く福島宿史跡めぐり、文化体験	
松筑	西野貴博さん (株式会社松本山雅)	「現代のアカデミー選手の育成」
安曇	5研究会を開催	

2022 年度

支 部	講 師	演 題 (OL : オンライン)
高水須坂	武者一弘さん (中部大学人間力創成教育院・専門職教育プログラム長・教職支援センター副センター長)	「観点別評価の背景と対応について考えてみましょう」
長水	今度珠美さん (鳥取県デジタルシティズンシップエドゥケーター・国際大学GLOCOM客員研究員)	「デジタル・シティズンシップ」善きデジタル市民への学び
更埴	坂本龍太郎 氏 (ワルシャワ日本語学校教頭)	「日本を出て、日本を知る～ポーランドから見た世界～」
上小	鈴木大裕さん (教育研究者、高知県土佐町町会議員)	「先生が先生になれない世の中で求められる『働き方改革』とは」→塩田中学校内の校内テレビ放送
佐久	東海林次男 (東京都歴史教育者協議会会長)	「モノから考える地域の歴史」
諏訪	児美川孝一郎さん (法政大学教授)	「教育の本質に迫り、新たな時代の学校像を探求する」
上伊那	山本宏樹さん (大東文化大学准教授)	「子どもと歩む GIGA スクール実践」
下伊那	教科別 11 分科会。 混合分科会。参加者の教科と学校を混ぜてグループ討議のような形で、「評価規準」や「タブレットPC」について、情報交換会を企画。	「今こそ職員どうしの同僚性を発揮した学びあいを高めよう」
木曾		
松筑	和田 浩 氏 (健和会病院 (飯田市) 小児科医)	「現在の子どもの心身の状況について (課題)」
安曇	あしや (YouTuber)	人気高評価動画、約 400 万回再生記録。チャンネル

		ル登録者 28 万人。ロシアとウクライナの問題、日本と海外の文化の違い、長野県安曇野への関心、帰化に寄せるおもいをお話しいたします。
--	--	--

#### 2021 年度

支 部	講師	演題 (OL : オンライン)
高水須坂	中止	
長水	東田直樹さん (作家・自閉症を抱えながら執筆活動)、東田美紀さん (直樹さんの母)	「コロナ禍に対する児童・生徒の心のケア (with コロナの学校生活)」 (OL)
更埴	レポートを支部 HP にアップし開催	
上小	鈴木大裕 氏 (教育研究者 高知県土佐町議会議員)	「コロナ禍が問う「学校」という場所、「教師」というしごと」
佐久	望月衣塑子 (東京新聞社会部新聞記者)	「コロナ禍の菅政権～民主主義とメディア～」
諏訪	内田良さん (名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授)	「学校をカエル！部活動改革から働き方改革まで」
上伊那	佐藤隆さん (都留文科大学教養学部教授)	「GIGA スクールは学校をどう変えるか」
下伊那	分科会 (参集式) 開催	
木曾	中止	
松筑	清水潔さん (日本テレビ報道局特別解説委員)	「教育と報道の責任」
安曇	中止	

#### 2020 年度

支 部	講師	演題 (OL : オンライン)
高水須坂	北村千章さん (清泉女学院大学看護学部)	「小児医療の進歩により変化した子どもたちの現状～医療と教育の協働～」 (参集)
長水	内田良子さん (心理カウンセラー)	「コロナ禍に対する児童・生徒の心のケア (with コロナの学校生活)」 (OL)
更埴	分科会実施	(参集)
上小	上小支部HP開設 web 版レポート発表を実施。質問、感想を受け付けた。	(OL)
佐久	中止	
諏訪	教科別 (6)・課題別 (3) 分科会実施	(参集)
上伊那	児美川孝一郎氏 (法政大学)	『コロナ禍の時代の教育に求められるもの—進められつつある教育改革に注目して—』 (OL)
下伊那	中止	
木曾		
松筑	川久保守さん (国立極地研究所南極・北極科学館、サイエンスナビゲーター (ボランティア))	「なるほど！ そうなのか」 —南極クイズにチャレンジ (OL)
安曇	中止	

#### 2019 年度

支 部	講師	演題
高水須坂	松村 宏さん (米子市地域おこし協力隊・ライブ漫画家)	「息抜こう～笑ってみんなで生き抜こう」
長水	渡辺雅之さん (大東文化大学)	「共に学びあう道徳教育—いじめや差別を乗り越える—」
更埴	藤田晃之さん (筑波大学人間系 (教育学	「キャリア教育～理念と実践」

	域) 教授)	
上小	鈴木大裕さん (教育研究者、土佐町議会議員)	「先生が先生になれない世の中で～公教育の今と未来を考える～」
佐久	鈴木大裕さん (教育研究者、土佐町議会議員)	「公教育の今と未来を考える-土佐町からの発信～」
諏訪	斎藤貴男さん(ジャーナリスト)	「格差社会と主権者教育」
上伊那	山本由美さん(和光大学教授)	「昨今の教育改革がもたらすもの」(仮題)
下伊那	鈴木文治さん (元川崎市麻生養護学校校長)	「共生社会の実現をめざして～インクルーシブ教育～」
木曾	映画上映	「Canta! Timor カンタ! ティモール (うたえ! ティモール)」(広田奈津子監督、2012) 東ティモールの闘いを取り上げた国内初の長編ドキュメンタリー映画
松筑	馬目弘仁さん(登山家)	「挑戦を続ける原動力」
安曇	飯尾和也さん (元松本山雅FC選手・パーソナルメンタルサロンホラソン代表)	「夢を持ち楽しい人生を歩むためのメンタリティー」

## 2018 年度

支 部	講師 演題
高水須坂	富樫均(長野県環境保全研究所・長野県地質図活用普及事業研究会)「デジタル地質図を活用した長野県の地形地質について」: 富樫先生は長野県デジタル地質図を作成。NHKブラタモリ出演。北信地方を中心に自然、環境、地域防災についてデジタル地質図を使い講演されます。ブラタモリのエピソードも聞けます。"
長水	諏訪原健(たけし)(筑波大学大学院人間総合科学研究科に在籍。2015年にはSEALDsのメンバーとして活動。)「未定」: 特別企画として9/22(土)プレ教研 妹尾昌俊さん(教育研究者、文科省学校業務改善アドバイザー、中教審学校の働き方改革部会委員)"
更埴	関根健次(配給会社ユナイテッドピープル代表)「21世紀のモデル国家を目指すコスタリカからの学び」: 映画『コスタリカの奇跡』視聴(公演前) 更農高校のジャムとジュースの販売があります。"
上小	杉浦徹(国立特別支援教育総合研究所 情報・支援部主任研究員)「発達障害児の理解と支援-学校に求められること 共生社会を目指して-」"
佐久	安田菜津紀(フォトジャーナリスト)「紛争地・被災地に生きる子どもたち」"
諏訪	児美川孝一郎(法政大学)「新学習指導要領における教育課程の内容を検討する」
上伊那	田中昌弥(都留文科大学教養学部教授)「新しい学びのデザイン～新学習指導要領をのりこえて」
下伊那	三浦広志(NPO法人野馬士)「未来を見据えた復興を～「野馬士」のアプローチ～」
木曾	「地域巡見」-地域の資源を知り生徒の指導につなげる
松筑	小出裕章(元京都大学原子炉実験所助教)「フクシマ事故と教育の責任」
安曇	畠山澄子(NGOピースボート)「ピースボート活動について」

## 2017 年度

支 部	講師 演題
高水須坂	安齋育郎(立命館大学名誉教授) だまし世を生きる知恵
長水	俵義文(子どもと教科書全国ネット21事務局長) 子どもたちがねらわれている

更埴	石川結貴（作家・ジャーナリスト）不安な時代を生きる子どもたちを、保護者とともにもう理解するか
上小	佐久間亜紀慶應義塾大学教職課程センター教授子どもの視点から学力を問い直す ～今、教職員がなすべきことは～
佐久	伊藤真（弁護士 伊藤塾塾長）『今こそ「憲法の力」をつけよう！ ～未来を輝かすために～』
諏訪	渡辺寛人（NPO 法人 POSSE 事務局長）ブラック企業 ブラックバイトの実態（仮題）
上伊那	南澤信之（セーフティーネット総合研究所）ネット社会におけるリスクマネジメント ～SNS の危険性と留意点～
下伊那	梅原利夫（和光大学教授 民主教育研究所代表）学習指導要領改訂の特徴と高校教育課程の創造的実践
木曾	曾我部義明（微生物活性酵素マイエンザ開発者）地球と人にやさしいマイエンザの魅力（仮題）
松筑	小野良太（愛知大学教授）高校生の未来志向を明るくするヒント
安曇	児玉典子（反貧困ネットワークアルプスの風）子どもの貧困 ー子どもの声を置き去りにしない社会、学校をー

## 2016年度支部教研

支部	講師 演題
高水須坂	木村真三氏（獨協医科大学）「震災5年 福島の現状から日本のこれからを考える」
長水	渡辺寛人氏（ブラックバイトユニオン）「ブラック企業・ブラックバイトの実態」
更埴	松田恵子氏（ブルースカイ（登校拒否を考える親と子の会）） 「不登校の理解と支援ーわが子の不登校と居場所をブルースカイから学んだことー」
上小	立川談慶氏（落語家）「落語力から人間力ー働くモチベーションを上げるー」
佐久	宮下与兵衛氏（首都大学東京）「すべての子どもたちに主権者教育を」
諏訪	石川文洋氏（報道写真家）「沖縄の基地問題」
上伊那	斉藤貴男氏「18歳選挙権の下で『教育』に何が求められるか」
下伊那	宮下与兵衛氏（首都大学東京）「すべての高校生を主権者にー学校・家庭・地域の課題ー」
木曾	唐澤靖氏（塩尻志学館高校）「ワイン醸造の実践」
松筑	川口加奈氏（NPO 法人 Homedoor） 「社会的課題に向き合う生徒を育てるー貧困問題に向き合った私の経験からー」
安曇	宮下与兵衛氏（首都大学東京）「すべての高校生を主権者にー学校・地域の課題ー」

## 2015年度支部教研

支部	講師 演題
高水須坂	セーラ・マリ・カミングス氏「学生が育つ地域をつくる」
長水	小林康二氏（笑工房）「アベさんが目指す日本国」
更埴	永田陽子氏、北村真哉氏（全国ウェブカウンセリング協議会） 「ネットトラブルと生徒とのコミュニケーションのとり方」
上小	伊藤真氏（法学舎）「司法試験流知的生産術 ～安保法制の動きに触れながら」
佐久	俵義文氏子どもと教科書全国ネット21事務局長） 「道徳の教科化と教科書問題～安倍教育再生のねらうもの」

諏訪	仁藤夢乃氏（女子高校生サポートセンターColabo 代表理事） 「難民高校生～少女たちの現状～」
上伊那	片山裕之氏（駒ヶ根青年海外協力隊）「青年海外協力隊について」
下伊那	松崎運之介氏（元・夜間中学校教諭） 「～私の『夜間中学』教師体験記～命の光を大きく輝かせるために」
木曾	浜田久美子氏（作家）「地域と仕事を誇れる人を育てる学校」
松筑	田中優氏（脱原発などのNGO活動）「原発を中心とする環境・エネルギー問題について」
安曇	江澤佐知子氏（産婦人科医／医学博士／社会企業家） 「自分を生きる。今を生きる～自分環境、未来環境を考える～」

## 2014年度支部教研

高水・須坂	勝野正章氏（東京大学）「教員評価をどう考えるか～教師の専門的自律性と同僚性を中心に～」
長水	伊藤千尋氏（ジャーナリスト）「憲法改悪を許さない～今こそ活憲を！」
更埴	映画「標的の村」上映
上小	小栗正幸氏（法務技官）「私のお仕事～教師支援の実際～」
佐久	阪田雅裕氏（元内閣法制局長官）「政府の憲法解釈と集団的自衛権」
諏訪	原伸介氏（信濃白炭 炭師）「比べず褒めれば命は輝く」
上伊那	川村遼平氏（POSSE 事務局長）「『ブラック企業』から若者を守るために—教員・家族にできること」
下伊那	ジェフ・バーグランド氏（京都外国語大学教授）「日本の常識、世界の常識」
木曾	安田菜津紀氏（フォトジャーナリスト）「写真で伝える、世界・東北の『今』」
松筑	飯田千代香氏人形劇「障遣願舞 うつ神楽」と対談百鬼ゆめひな
安曇	湯浅誠氏「『格差社会』において教育の果たす役割とは」

## 2013年度支部教研

高水・須坂	菅谷昭氏（松本市長）「原子力災害による健康への影響と長期的課題」
長水	小澤隆一氏（東京慈恵会医大）「憲法改悪を許さない～自民党改憲草案の狙うもの～」
更埴	塚原弘昭氏（信大名誉教授）「北信地域を地震が襲ったとき～歴史から学ぶ防災について～」
上小	堤未果氏（ジャーナリスト）「教育に関わる現状の課題～社会の真実の見つけ方～」
佐久	斎藤貴男氏（ジャーナリスト）「安倍改憲政権で教育はどうなるか」
諏訪	中田康彦氏（一橋大）「高校教育における教師の希望」
上伊那	中田康彦氏（一橋大）「『教育改革』をめぐる状況と私たちの課題」
下伊那	長谷川公一氏（東北大）「原子力に依存しない未来をどう拓くか」
木曾	勝野正章氏（東京大）「未来を拓く学校づくりと教師の仕事」
松筑	坂井博通氏（埼玉県立大）「笑い与健康は往ったり来たり」
安曇	吉岡太史氏（高知県高校教員）「フクシマ『レベル7』と向き合う」

## 2012年度支部教研

高水・須坂	坂井博通氏（埼玉県立大保健福祉医療学部）「社会的健康を支える笑い」
長水	小出裕章氏（京大原子炉実験所）「子どもたちを守るために大人たちがしなければならないこと」
更埴	菅谷昭氏（医師・松本市長）「原子力災害による健康への影響と長期的課題」
上小	菅谷昭氏（医師・松本市長）「原子力災害による健康への影響と長期的課題」
佐久	田村節子氏（東京成徳大） 「チームで子どもを支える子どもの成長～保健室とのパートナーシップに焦点を当てて」
諏訪	堀井正子氏「こころを育てる言葉の力」
上伊那	中馬清福（信毎主筆）「子どもを『生かす』教育を—地域から考える」
下伊那	正木和明氏「高校現場における防災教育」
木曾	大畑誠也氏（九州ルーテル学院大）「21世紀に求められる能力—悪戦苦闘能力を身につけよう」

松筑	松本猛氏（信州自遊塾）、森永敦子氏（手をつなぐ3.11 信州代表） 「今子どもたちに伝えたいこと—福島を訪ねて」
安曇	木田崇之氏（関西合同法律事務所弁護士） 「大阪市の公務員労働現場で起きていること—橋下市長の描く公務員像」

## 2011年度支部教研

高水・須坂	田中優氏（未来バンク）「福島原発をきっかけに～未来のエネルギーを考える」
長水	田中優氏（未来バンク）「原発に頼らない社会へ」
更埴	田中優氏（未来バンク）「未来のエネルギーを考える～福島原発をきっかけに」
上小	湯浅誠氏（反貧困ネット）「教育と福祉～生活困窮者支援の現場から」
佐久	田中優氏（未来バンク）「原発に頼らない社会へ」
諏訪	竹村英明氏（環境エネルギー政策研究所）「原子力政策の闇と未来のエネルギー」
上伊那	森達也氏（映像作家）「世界はもっと豊かだし、人はもっと優しい」
下伊那	合木こずえ氏（シネマコラムニスト）「未来を生きる君たちへ」
木曾	大野晃氏（長野大）「山村社会の現状と担い手育成教育」
松筑	菅谷昭氏（松本市長）「チェルノブイリと福島」
安曇	小坂共栄氏（信大名誉教授）「糸魚川-静岡構造線を考える 安曇野の防災を考える」

## 2010年度支部教研

高水・須坂	腰塚勇人氏（「命の授業」著者）「命の授業」
長水	伊藤千尋氏（朝日新聞特派員）「活憲の時代～コスタリカから9条へ～」
更埴	松崎菊也氏（戯作者）「この国の勘違いを問う～視点を変えると見えてくるもの」
上小	清川輝基氏（元NHK長野局長）「子どもが危ない!～“メディア漬け”と子どもの危機～」
佐久	中馬清福氏（信毎主筆）「先が見えない時代と教育の役割」
諏訪	長有紀枝氏（立教大学）「国際協力の現場からNGOだからできること」
上伊那	青砥恭氏（「高校中退」著者）「高校中退から見えた日本の貧困」
下伊那	浅井春夫氏（立教大学）「『子どもの貧困』の広がりの中で、教育は何をしなければならぬか」
木曾	佐古田博氏（日高教教文部長）「全国の教育をめぐる状況」
松筑	坂田雅子氏（映画監督）「映画『花はどこへいった』に込めた願い」（仮）
安曇	堀内都喜子氏（「フィンランド豊かさのメソッド」著者）「フィンランド～国を支える教育と福祉～」

## 2009年度支部教研

高水・須坂	伊藤千尋氏「活憲の時代～憲法を使って輝くために」
長水	坂田雅子氏「花はどこへいった」上映と講演
更埴	湯浅誠氏「反貧困～若者の貧困の現状と対策～」
上小	伊藤真氏
佐久	湯浅誠氏「現代の貧困と教育の果たす役割」
諏訪	辛淑玉氏「被差別の視点」
上伊那	湯浅誠氏「貧困の現場から日本の未来を考える」
下伊那	中田康彦氏「新学習指導要領と教育改革は学校現場にどのような影響をもたらすのか？」
木曾	柳澤俊文氏「子どもたちをめぐる状況と教育」
松筑	下川裕治氏「日本を降りる日本人」
安曇	品川裕香氏「すべての子どもに求められる教育～発達障害からいじめ・不登校・非行まで～」

## 2008年度支部教研

高水・須坂	渡辺弥生氏（法政大）「人間関係を育てるソーシャルスキル」
長水	堤未果氏（ジャーナリスト）「アメリカの格差社会から見える日本の子どもたちの未来」
更埴	加瀬清志氏（放送作家）「16歳の心を開く5つの魔法」
上小	降籬志郎氏（清泉女学院大）子どもたちの心の問題を中心に
佐久	大平健氏（聖路加国際病院） 「社会情勢の変化が子どもの成長に与える影響～発達障害をひとつの事例として」
諏訪	田中優氏（未来バンク） 「お金の使い方で社会を変える～戦争をやめさせ環境破壊をくいとめる社会の作り方」
上伊那	佐高信氏（作家）「城山三郎の遺言——戦争で得たものは憲法だけだ！」
下伊那	角倉孝氏（エコノミスト）「ワーキングプア問題と日本経済の今後」
木曾	後藤道夫氏（都留文科大）現代の貧困問題を中心に
松筑	浦野東洋一氏（帝京大）『開かれた学校づくり』を今こそ
安曇	伊藤千尋氏（朝日新聞）「活憲の時代～世界から見た憲法～」